



◆ナビゲーションドラッグを開発する五稜化薬、シリーズ E ラウンドにおいて2.8億円の追加資金調達を実施

五稜化薬株式会社(本社:札幌市、代表取締役:丸山健一、以下「当社」)は、本日付で株式会社北海道新聞社、KxShare 株式会社が運営する KxShare 1号投資事業有限責任組合及び KxShareGC 投資事業有限責任組合、並びに JNS ホールディングス株式会社が株式会社 TNBI を GP として設立・運営する CVC「テクミラー号投資事業有限責任組合」を引受先として追加的に約2.8億円を調達し、4月25日に発表しました、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社が運営する THVP-1 号投資事業有限責任組合など5社を引受先として実施した約2.6億円の調達資金と併せ、シリーズ E ラウンドの資金調達総額は約5.4億円となりました。

今回の引受先の社は下記のとおりです(順不同)。

株式会社北海道新聞社、

KxShare1 号投資事業有限責任組合(KxShare 株式会社が運営)

KxShareGC 投資事業有限責任組合(KxShare 株式会社が運営)

テクミラー号投資事業有限責任組合(株式会社 TNBI が運営)

当社は、下記にご説明するとおり、乳がんの体外診断薬(GCP-006)(注1)をリード製品として食道がんなど複数のナビゲーションドラッグ(体外および体内診断薬)の開発を進めており、これらの早期薬事承認に向け、また、それらに続き、開発初期にある新規候補品のパイプライン化に向けた研究開発を進める計画であり、今回調達した資金は、これらのパイプラインの開発の一部として充当する予定です。

注1) 乳がん体外診断薬(GCP-006)は、2022年5月から開始した臨床性能試験を完了し、その試験結果を踏まえ2023年3月28日に厚生労働省に薬事承認申請を行いました(4月3日の弊社ニュースリリースをご参照ください)。申請は同3月30日に受理され、現在、厚生労働省において審査中です。

五稜化薬及びND(ナビゲーションドラッグ)について

当社は、蛍光プローブ(注2)を活用し、主に手術中に、体内または体外にて生体組織に噴霧し、標的の生体物質、より具体的にはがん等の病変を光らせて特定化する蛍光診断薬 Navigation Drug (ND)を開発しています。ナビゲーションドラッグは、術中に、迅速かつ微小な病変をも検出することで外科医による切除手術をナビゲートし、がん組織の取り残しを防ぐなど、病変部位の把握と対処を容易にし、治療行為を直接サポートするもので、ND 事業は、「Fluorescent Image-Guided Surgery(蛍光イメージング(注3))を活用した外科手術支援(当社訳)」とも言われ、これからますます注目されている事業分野です。

注2) 蛍光プローブ:ある特定の標的分子と反応することでその構造が変化して、強い蛍光を発したり、蛍光の色調が変化したりする機能性分子の総称です。

注3) 蛍光イメージング:さまざまな蛍光色素や蛍光タンパク質にレーザーなどの光を当てることで、細胞や特定のタンパク質などの局在や動きを観察できるようにした手法です。

当社の開発は、乳がん(GCP-006)及び食道がん(GCP-002)などがん領域が主体で、今後、多様ながんの手術時や健診時などで活用され、がんの早期発見・早期治療や再発予防、術後の早期回復に資する製品の開発に注力する計画です。このうち、先行する乳がんについては、臨床性能試験を完了し、本年3月28日に体外診断薬としての製造販売承認申請を厚生労働省に行い、受理されました(3月30日)。また、蛍光プローブは、プラットフォーム技術という基本特性を生かし、がん以外の組織に適用し、当該組織部分を光らせることも可能です。本年4月、千寿製薬とグローバルレベルでの正式なライセンス契約を締結したカルパイン(注4)プローブ(緑内障コンパニオン診断薬)は、がん以外の症例分野に蛍光プローブの開発を拡大していく具体的な可能性を示す最初の製品であり、他用途展開も視野に入れた本技術の社会実装を進めて参ります。

なお、当社は、ソレイジア・ファーマ株式会社(東京都港区、代表取締役社長:荒井好裕)との間で、当社医薬事業を対象とする、海外共同事業化可能性を検討することに合意しております。

(注5)。

注4) カルパイン:細胞死を誘導する酵素であり、神経保護治療の有力な標的分子とされています(眼科領域に関する千寿製薬との契約については4月5日の弊社ニュースリリースをご参照ください)。

注5) ソレイジア・ファーマ株式会社との医薬品事業の共同事業化に向けた連携については7月13日の弊社ニュースリリースをご参照ください。

当社の概要は、次のとおりです。

会 社 名	五稜化薬株式会社
本 社 住 所	北海道札幌市中央区北8条西18丁目35番地100
代 表 者	代表取締役 CEO 丸山 健一
設 立	2010年(平成22年)7月
事 業 内 容	機能性蛍光プローブの製造・販売、受託合成および機能性蛍光プローブを用いたがん外科手術向けナビゲーションドラッグの開発
URL	https://goryochemical.com/

引受先について

株式会社北海道新聞社

ウェブサイト:<https://kk.hokkaido-np.co.jp>

KxShare1号投資事業有限責任組合及び KxShareGC 投資事業有限責任組合

KxShare 株式会社は、「ファンド運用を通してより良い IPO 市場を形成し、日本社会の発展に貢献すること」を目標に設立され、上場及び未上場株式に投資する IPO クロスオーバー投資のファンド運用事業などをベースに投資、運用を進めています。KxShare 株式会社は、KxShare1号及び同 GC 投資事業有限責任組合の GP(無限責任組合員)として管理運用を担います。

ウェブサイト:<https://kxshare-capital.com>

テクミラー号投資事業有限責任組合

株式会社 TNBI が JNS ホールディングス株式会社(有限責任組合員)と共同で設立し、運営する CVC(Corporateベンチャーキャピタル)で、JNS ホールディングス株式会社との事業関連性のある企業、先端技術、新規性が極めて高いビジネスモデル等に係るスタートアップ・アーリーステージの企業を投資対象としています(設立2023年6月1日)。

ウェブサイト: JNS ホールディングス株式会社 <https://www.jns.inc/>

株式会社 TNBI <https://www.tnbi.co.jp>

<お問合せ>

五稜化学株式会社

担当: 中塚琢磨

TEL: 011-624-5860 または 080-8442-7062

E-Mail : nakatsuka@goryochemical.com